

北陸ブロックの社会資本の重点整備方針 素案【構成】

現状と課題

将来像

社会資本整備の重点事項

北陸ブロックの特徴

- ① 三大都市圏や環日本海諸国と対面する地理的特徴
- ② 美しい景観と多くの自然災害の発生要因をあわせ持つ自然特徴
- ③ 豊かな自然環境と水資源を活用した産業の特徴
- ④ 優れた居住環境と個性ある地域文化の特徴

北陸地方における近年の状況変化

- (1) 高速交通ネットワークの整備でさらに近くなる三大都市圏
- (2) 環日本海諸国の経済発展を背景とした国際的な物流・観光の拡大
- (3) 人口減少、高齢化社会の進行と新たな都市再生の動き
- (4) 大規模な自然災害の経験
- (5) 景観や環境に配慮した取組
- (6) 地域コミュニティの弱体化と新たな主体の発生
- (7) 老朽化する社会資本の急増

北陸地方におけるこれまでの取組

- ① 広域的連携交流・活力のある地域づくり
- ② 安全で安心な地域づくり
- ③ 美しさや自然豊かな文化の香りのする地域づくり

北陸地方で今後取り組むべき課題

- (1) 地域産業の活性化と国際競争力の強化
- (2) 豊かで多様な自然や文化の集積など地域資源の活用
- (3) 国内外との連携強化による地域の活性化
- (4) 接続する都市と自然豊かな農山漁村との融合が生み出す魅力の活用
- (5) 雪や地震など厳しい自然災害への備え
- (6) 美しい自然環境・地球環境の保全への対応
- (7) 社会資本における新たな取組

北陸地方の目指すべき将来の姿

- 1 世界に開かれた日本海側における交流の中核拠点
- 2 人々をひきつける「暮らしやすさ」日本一

重点目標達成のための取組

重点戦略	重点目標
1 進取の気性に富んだものづくり文化で培われる国際競争力のある産業の育成	① 交流・連携の拡大による産業活動の活性化
2 地域文化力で育まれる国内外との交流の創出	① 地域資源の連携による観光交流の拡大 ② 歴史・文化を活かした個性的で魅力ある空間の創出
3 人をひきつけるゆとりといやしにあふれる暮らしの充実	① 快適な生活空間の形成と都市の再生 ② だれもが安心して暮らせる生活環境の実現 ③ 中心都市等と周辺地域の交流・連携 ④ 明瞭な四季や変化に富んだ地形がもたらす美しく豊かな自然との共生 ⑤ 地球環境への負荷の軽減と環境の改善
4 災害に強い安全・安心な国土の実現	① 風水害、土砂災害、地震、高波等の自然災害の克服 ② 雪国の生活、交通の安定性の向上 ③ 海難事故の防止、テロ、武力攻撃事態等に対する危機管理対策の強化
5 日本海側の中核拠点の形成に向けた交流機能の強化	① 環日本海諸国をはじめとした国際交流の拡大 ② 日本海側の交流拠点の連携強化と太平洋側との連携
6 多様な主体の参加と計画的な維持管理等の取組	① 多様な主体との連携・協働の推進 ② 情報通信技術を活用した社会資本整備の高度化 ③ 計画的かつ適切な施設の維持・管理及び更新の実現

アウトカム指標と主要事業(抜粋)

人口一人当たりの年間渋滞損失時間 【35時間(H19)→約1割削減(H24)】	➡	地域高規格道路の整備 金沢外環状道路(一般国道159号金沢東部環状道路)(石川県)
観光拠点での親水性・景観に配慮した河川の整備延長【16km(H19)→23km(H24)】	➡	地域連携事業 蓮瀧地区かわまちづくり(新潟県)
歩いていける身近なみどりのネットワーク率 【57%(H19)→62%(H24)】	➡	水と緑豊かな地域の交流拠点の整備 国営越後丘陵公園(新潟県長岡市)
津波・高潮による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の面積 【約2,090ha(H19)→約1,850ha(H24)】	➡	海岸保全施設整備事業 下新川海岸(富山県黒部市、入善町、朝日町)
コンテナ貨物取扱量増加による経済効果 【3,051億円(H19)→4,033億円(H24)】	➡	多目的国際ターミナルの整備 敦賀港鞠山南地区(福井県)(H22年度完成)